

中小事業者における環境マネジメントシステムについて

①趣旨

世界規模で温室効果ガスの排出量の削減が求められる中、那須塩原市においては平成25年6月に地球温暖化対策実行計画【区域施策編】を策定し、温室効果ガスを平成32年度までに基準年度（平成21年度）比で15%削減することを目標としています。

その中で、部門ごとの排出量の推移をみると、民生業務部門では他の部門よりも特に増加率が高いことから、25%削減することを目標としています。そのため、事業者が地球温暖化対策に積極的に取り組むことが重要となっています。

事業所が取り組む地球温暖化対策の手法の一つとして、国際標準化機構が定めたISO14001の取得がありますが、認証取得には、費用や時間、労力などの負担が大きく、中小事業者にとっては取り組み易いものではありません。

そこで、中小事業者の地球温暖化対策への取り組みとして、市役所の実施する環境マネジメントシステムを見直し、事業者用の環境マネジメントシステムとして導入することとします。

②目標

二酸化炭素の排出量を平成32年度までに基準年度（平成21年度）比で25%削減

市域の温室効果ガスの排出割合は二酸化炭素が91%を占めるため、二酸化炭素を対象の温室効果ガスとします。

③取組事項

・目的・目標プログラム一覧表の作成

事業所が取り組む地球温暖化対策の具体的な手段について計画します。

・施設燃料等使用量実績記録表の作成

事業所が使用する燃料等の使用量を記録・把握します。

・車両利用実績記録表の作成

事業所が使用する車両の走行距離と給油量、燃費を記録・把握します。

・可燃ごみ排出量実績記録表の作成

事業所が排出する可燃ごみの量を記録・把握します。

④システムの推進体制

このシステムの実施に係る環境管理の組織単位は、[※]各事業所毎とし、以下の者を置いて推進していきます。

○環境管理責任者

- ・システムの全体的な実施、維持及び管理を行います。
- ・環境管理主任者に対して、必要な指示を行います。
- ・システムの取組実績に関して市へ報告します。

前年度の実績について、5月末までに市環境管理課へ報告してください。

○環境管理主任者

- ・各事業所毎に環境管理責任者が指名する者となります。
- ・事業所における実務担当者として、率先してシステムの実施、維持及び管理を行います。

※例えば、A店舗とB店舗が異なる敷地にある場合は、それぞれ別の組織単位となり、環境管理主任者についてはそれぞれ置くこととなります。

⑤推進方法

ISO14001の考え方に基づくPDCAサイクル（Plan=計画、Do=実行、Check=点検、Action=見直し）により、地球温暖化対策に向けて継続的な改善を行います。

P：目的・目標プログラム作成します。

D：目的・目標プログラムにある実施手段の推進をします。

C：二酸化炭素排出量の増加が認められる場合、原因等を点検します。

A：点検結果を踏まえ、是正措置を講じます。